

第 130 回日本森林学会大会のお知らせ（第 4 回）

一般社団法人 日本森林学会会長
第 130 回日本森林学会大会運営委員長

第 130 回大会を新潟県新潟市で開催します。今回は開催時期が例年より 1 週間早いほか、開催期間中の日程も異なっていますのでご注意ください。詳細は随時、学会ウェブサイト (<https://www.forestry.jp/>) に掲載します。日本森林学会メールマガジン（月 1 回配信）でもお知らせいたしますので、登録をお願いします (<https://www.forestry.jp/mail/magazine/>)。

1. 日 程	午前	午後
2019 年 3 月 20 日（水）	各種委員会	研究発表
3 月 21 日（木）	研究発表	公開シンポジウム・授賞式・受賞者講演・懇親会
3 月 22 日（金）	研究発表	研究発表
3 月 23 日（土）	関連研究集会	関連研究集会

【重要な期日】

- 2019 年 1 月 10 日 17:00 大会参加（聴講）のみの場合の、参加申込み及び参加費前納の締切※
" 1 月 10 日 17:00 学術講演集原稿の提出締切（研究発表する場合のみ）

※郵便振込の場合は支払いが事務局で確認された時点で「支払い」とみなされます。振込から事務局での確認までに 7～10 日程度を要する場合がありますので、郵便振込での支払いは十分に時間の余裕をみて行ってください。

2. 会 場 新潟市 新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」

3. 参加・発表資格

【会員】

- 大会参加の事前申込みを行うことができます。
- 研究発表を行うことができます。
- 入会予定の方は学会ウェブサイトの「入会案内」をご覧ください (<https://www.forestry.jp/welcome.html>)。入会手続きが完了していませんと、学術講演集原稿（要旨）の入稿ができませんので、お早めに入会手続きをお済ませください。

【非会員】

- 大会当日の受け付けにより参加することができます。オンラインでの事前参加登録はできません。
- 研究発表を行うことはできません。ただし企画シンポジウムでは、コーディネータからの申請に基づき非会員の方も研究発表を行うことができます（その場合は、オンラインでの事前参加登録と研究発表登録を行い、参加費をお支払いください）。

【研究発表を行わない学部生（大会参加登録開始の時点で学部所属している学生）】

- 会員・非会員ともに大会参加費が無料となります。大会当日のみの受け付けです。オンラインでの事前参加登録はできません。なお、「発表を行う学部生の学生会員」および「学部生以外の学生会員（例えば大学院生）」は大会参加費をお支払いください。

4. 学会大会への参加の流れ

研究発表の申込みは締切られました。研究発表をしないで大会に参加する場合は、「5. 大会参加の申込み」の手続きのみが必要となります。研究発表の申込みをされた方は「6. 学術講演集原稿の提出」の手続きが必要となります。

5. 大会参加の申込み（大会参加のみの前納の締切は 2019 年 1 月 10 日（木） 17:00）

大会参加ならびに懇親会の参加申込みは、すべて日本森林学会ウェブサイトの大会参加・研究発表申込み専用サイトからオンライン登録で行います。Fax, E-mail による大会参加の受け付けは行いません。学会ウェブサイト (<https://www.forestry.jp/>) にアクセスし、専用サイトから、大会参加の申込みと大会参加費・懇親会費の支払い手続きを行ってください。

大会参加費（税込）	1 前納の場合：一般会員 6,000 円	学生会員 3,000 円
	2 大会当日：一般会員 7,000 円	学生会員 4,000 円
懇親会費（税込）	1 前納の場合：一般会員 6,000 円	学生会員 4,000 円
	2 大会当日：一般会員 8,000 円	学生会員 5,000 円

※学会の法人化に伴い大会参加費および懇親会費の消費税を内税で徴収します。

※大会にはどなたでも参加出来ます。非会員の方は当日受付で当日参加費をお支払ください。

※懇親会の当日参加は定員に達し次第締め切らせて頂きます。

- 登録の際、会員番号の入力が必要です（※企画シンポジウムで講演される非会員、および高校生ポスター発表者は除きます）。

会員番号は日本森林学会誌が封入されている封筒の表側に記載されています。これから入会を予定しており、参加申込みの時点で会員番号をまだお持ちでない方は、専用サイトから登録を行う際に仮番号が自動的に用意されます。ただし、研究発表をされる場合、正式の会員番号が入力されなければ学術講演集原稿の提出ができません。学術講演集原稿の提出締切の2019年1月10日までに会員番号が確実にお手元に届くよう、どうか余裕をもって入会手続きを行ってください。

- 大会参加の申込み時に参加費の払込みを行います。

参加費の払込みは原則として専用サイトからカード決済（VISA、MASTER）で、期日までにお願いします。

郵便振替をご利用の方は専用サイトで郵便振替選択ボタンをチェックの上、期日までに事務局で確認されるように振替を行ってください。払込取扱票の日林誌への綴じ込みはありませんので、郵便振替口座による払込みをご希望の場合は、郵便局の払込取扱票を使用し、通信欄に必要事項（参加申込者氏名（ふりがな）、参加受付番号（RGで始まるもの）、連絡先住所、電話、所属、送金金額内訳）を記入のうえ、下記の郵便振替口座に送金してください。払込取扱票は、参加者1名につき必ず1枚ずつ使用してください。郵便振替によるお支払いは、学会事務局で確認されるまでに7～10日程度かかる場合もあります。どうか余裕をもってお支払い手続きを行ってください。クレジットカードによる支払いは即座に確認できますので、その意味でもカード支払いをお願いいたします。

郵便振替口座

口座番号 00160-7-789845

加入者名 一般社団法人日本森林学会 大会運営委員会

- 研究発表する場合は、前納以外の払込み方法はありません。
- 領収書は大会当日、受付時に発行します。
- いったん納入された大会参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 上記締切以降は、クレジットカード・郵便振替口座による払込みは受け付けません。大会当日に受付でお支払いください。
- 参加費の払込み手続きが行われない場合には、研究発表をキャンセルしたものとして処理いたしますのでご注意ください。
- 研究発表をしない場合、事前の参加申込みでなく大会当日の参加申込みは可能ですが、受付が混雑して手続きに時間がかかることが予想されます。また、予想を上回る当日参加者があった場合、プログラムおよび大会学術講演集の配布ができない可能性がありますので、上記締切までにお申込みいただくようお願いいたします。

6. 学術講演集原稿の提出（締切：2019年1月10日（木）17：00）

学術講演集の原稿は、2019年1月10日（木）17：00までに学会ウェブサイトの大会参加・研究発表申込み専用サイト（<https://www.forestry.jp/meeting/meeting130/registration.html>）からオンラインで入稿してください。専用サイトからの登録以外は受け付けませんのでご注意ください。

- 参加費の払込みが事務局で確認された時点で、入稿が可能となります。郵便振替の場合、払い込みが確認されるまで7～10日程度かかりますので、ご注意ください。入会予定の方は、入会手続きの完了も必要となります。

- 原稿は、全角 500 字に相当するバイト数（制御文字含む）以内で日本語、または英語で入力してください（図表は使用できません）。ギリシャ文字、斜体、下付・上付文字などの入力、入力画面の説明を参考にしてください（ワープロからコピー＆ペーストしても文字飾りは反映されませんのでご注意ください）。詳しい入力方法については、ウェブサイト以案内を掲載する予定です。また、2018 年 11 月 15 日（木）17：00 以降は、著者名・所属、題名の変更はできません。
- 学術講演集は冊子として印刷され、大会当日配布されるとともに、大会開催の約 1 ヶ月前に学会ホームページに掲載いたします。また、大会終了後には大会発表データベース（予稿集公開システム J-STAGE）にて公開される予定です。

7. 発表方法

口頭発表の機器は液晶プロジェクターのみとします。Microsoft PowerPoint 2013 をインストールしたパソコンを準備します。発表に用いる PowerPoint ファイルは、2013 バージョンに対応したものをご準備ください（各自で事前に動作確認されることをお勧めします）。

ポスター発表のポスターの大きさは、A0 縦置き（1,188×841 mm）を基本とします。ポスターには、発表題目、発表者氏名を明記してください。

なお、発表方法の詳細につきましては、日林誌 101 巻 1 号（2019 年 2 月発行予定）と日本森林学会ウェブサイトに掲載する大会プログラムをご参照ください。

8. 学生ポスター賞について

日本森林学会学生ポスター賞は、学生会員の研究の奨励を目的として、日本森林学会大会で優れたポスター発表を行った学生会員に授与されます。学生会員が筆頭発表者であり、研究発表申込時に学生ポスター賞に応募したポスター発表が対象です。第 130 回大会では、エントリーしたポスター発表の研究発表日を 3 月 21 日とし、同日中に選考結果を発表する予定です。また、3 月 22 日には授賞ポスターを掲示し、昼頃に授賞式を行う予定です。受賞者には、ポスターの掲示と授賞式への参加をお願いしますので、ご協力ください。なお、選考基準については大会サイトの学生ポスターについて（<https://www.forestry.jp/meeting/meeting130/posterAward.html>）をご参照ください。

9. 高校生ポスター発表（学術講演集原稿[要旨]の締切：2019 年 1 月 10 日（木）17：00）

日本森林学会では、森林・林業への青少年の興味関心を喚起し、中等教育における学習研究を支援する目的から、第 125 回大会より高校生のポスター発表を実施しています。第 130 回大会でも 2018 年 11 月 15 日（木）締切でポスター発表を募集しました。応募された各学校の皆様におかれましては、学術講演集原稿要旨を高校生ポスター申込み専用サイト（<https://www.forestry.jp/meeting/meeting130/registration.html#highschool>）から上記締切までに入稿いただきますようお願いいたします。その他、高校生ポスター発表全般に関する内容につきましては、大会サイトの高校生ポスター発表のページ（<https://www.forestry.jp/meeting/meeting130/highschool.html>）をご参照ください。

10. 保育室の設置について ～受付締切を 2019 年 1 月 10 日まで延長～

第 130 回日本森林学会大会では、大会参加者がどなたでも利用できる保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、2019 年 1 月 10 日（木）までに、以下の事項を e-mail にて大会運営委員会（jfs130@agr.niigata-u.ac.jp）にお知らせください。詳細については、希望者に後日 e-mail 等で連絡します。

- 1) 利用希望者（大会参加者）の氏名、所属、連絡先(e-mail アドレス、電話番号)
- 2) 預けるお子様の氏名、年齢（2019 年 3 月 20 日現在）
- 3) 託児を希望する日付（学会期間中に限ります）
- 4) ご要望

11. 大会会場案内

今大会の開催場所は、懇親会会場を除きすべて新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」に集約されています。また、懇親会会場のホテル日航新潟も朱鷺メッセに隣接しており、アクセスは容易です。

各会場の詳細は日本森林学会ウェブサイト内の[アクセスマップ](#)をご参照ください。

各種委員会・日本森林学会各賞授賞式・受賞者講演・市民公開シンポジウム・研究発表・関連研究集会
（3 月 20 日～23 日）

新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」

〒950-0078

新潟県新潟市中央区万代島 6 番 1 号

アクセス

- 路線バス 新潟駅（万代口バスターミナル3番）から 佐渡汽船行「朱鷺メッセ」下車（約15分）
- タクシー 新潟駅万代口から （約5分）
- 徒歩 新潟駅万代口から （約20分）

12. 大会に関する連絡先

- ・ 日本森林学会への入会に関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会事務局
E-mail: office@forestry.jp
- ・ 第130回大会の参加申込み・発表申込みシステムに関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会事務局
E-mail: taikai@forestry.jp
- ・ 第130回大会の研究発表（部門別口頭発表，部門別ポスター発表，公募セッション，企画シンポジウム）に関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会プログラム編成委員会
E-mail: 130program@forestry.jp
- ・ 第130回大会学生ポスター賞に関する連絡先
〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
日本森林学会学生ポスター賞選考委員会
E-mail: hyosyo@forestry.jp
- ・ 第130回大会高校生ポスター発表に関する連絡先
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050
新潟大学農学部内
第130回日本森林学会大会運営委員会 高校生ポスター発表事務局
E-mail: high_school@forestry.jp
- ・ 第130回大会の上記以外（関連研究集会の申込みを含む）に関する連絡先
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050
新潟大学農学部内
第130回日本森林学会大会運営委員会
E-mail: jfs130@agr.niigata-u.ac.jp

雪国の森と木を活かす

東北から北陸、山陰にかけての多雪地には、かつて薪炭材として利用されてきたブナやナラ類など多様な広葉樹が戦後植栽されたスギとともに成長してきました。これらの森林を積極的に活用することが、多雪山間地域の経済活動に貢献し、衰退が危惧される集落を支援することにも繋がります。シンポジウムでは、これらの森林を育てながら多様に活かす試みとその必要性を市民と共有します。

平成31年3月21日（春分の日）13時30分～

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

『スノーホール』（新潟市中央区万代島6番1号）

参加無料

開会の挨拶 黒田 慶子（日本森林学会会長・神戸大学教授）

司会 箕口 秀夫（新潟大学教授・副学長）

基調講演「多雪地の森林の成り立ち・管理とその恵み」中静 透（文科省総合地球研・教授）
「多雪山間地域のブナ林やスギ林などの森林生態系としての特徴とともに、私たちの暮らしに関わる生物多様性の恵みについて」

講演「旧薪炭ブナ林の林業的利用とネットワークの取組み」紙谷 智彦（新潟大学・名誉教授）
「新潟県の豪雪山間地における、ブナ林業の確立と国産ブナ材の普及に向けた上中下流が連携した課題への取組みについて」

講演「飛騨市における広葉樹のまちづくり」中村 幹広（飛騨市林業振興課・課長）
「広葉樹のまちづくりを進める飛騨市が官民一体となって低コストで多様な広葉樹を育て、その過程で伐り出される小径木広葉樹の「新しい価値」を創造する取組みについて」

講演「多雪地のスギを大規模木造建築や住宅内装に活かす」志田 喜弘（㈱志田材木店・社長）
「多雪地スギ材の新たな活用法として期待されている大規模公共木造建築への利用拡大、さらに新たな住宅内装材への活用について」

まとめと閉会の挨拶 田中 浩（日本森林学会副会長・森林総合研究所理事）

同日10時～ 雪国の森と木を活かす特設ブース

森林を保全する市民活動、豪雪地の林業生産活動、雪国の木材を使った住宅などの紹介、雪国の木を使った木製品の展示・予約販売、さらに、親子で取り組む雪国の木を使った木工体験も予定しています。（会場前に設置）

主催 一般社団法人日本森林学会・公益社団法人国土緑化機構「緑と水の森林ファンド助成事業
共催（予定）新潟県・新潟大学
後援（予定）にいがた緑の百年物語・新潟県森林組合連合会・新潟県木材組合連合会
問合せ 第130回日本森林学会大会新潟大学事務局 jfs130@agr.niigata-u.ac.jp

